



平成 25 年 1 月 15 日

各 位

会 社 名 出 光 興 産 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 中 野 和 久
(コード番号：5019 東証第 1 部)
問 合 せ 先 経 理 部 I R 室 長 橋 床 泰 治
(TEL : 03 - 3213 - 9307)

ニソン製油所・石油化学コンプレックスについて

出光興産株式会社（本社：東京都千代田区、社長：中野 和久、以下出光）は、三井化学株式会社（本社：東京都港区、社長：田中 稔一、以下三井）、クウェート国際石油（以下 KPI）、ペトロベトナム（以下 PVN）と共に、「ニソンリファイナリー・ペトロケミカルリミテッド」を 2008 年に設立し、ベトナムにおける製油所建設に向けた基本設計、および精製事業スキームについて検討してまいりました。

今般、ニソン製油所・石油化学コンプレックスの建設コンソーシアムを決定し、建設発注に関する LOA（Letter of Award、発注内示書）を発行しました。今後、民間銀行および公的金融機関と協調融資の組成手続きを開始し、本年夏の建設着工を目指します。

当社は、石油・石油化学事業で培ってきた建設・運転技術を生かして、ワールドクラスの製油所・石油化学コンプレックス建設を目指し、急増するベトナム国内の石油製品の供給に貢献するとともに、成長する東南アジア市場への進出、産油国とのパートナーシップ強化を図ってまいります。

1. LOA 発行日

2013 年 1 月 15 日

2. 総投資額

90 億米ドル（運転資金やファイナンスコストを含む見込み額）

なお、50 億米ドルを目標に、プロジェクトファイナンス（民間銀行及び公的金融機関の協調融資）ベースで、資金を調達する予定。

3. 建設コンソーシアムの構成会社

日揮株式会社、千代田化工建設株式会社、テクニップグループ（フランス／マレーシア）、SK 建設（韓）、GS 建設（韓）

4. 今後のスケジュール（予定）

2013 年 1 月	融資組成開始、建設契約締結
2013 年第 2 四半期	融資組成完了・建設工事開始予定
2016 年第 3 四半期	完工・試運転開始予定
2017 年第 2 四半期	商業運転開始予定

5. 連結業績への影響

本件による当社グループの 2012 年度連結業績見通しの変更はありません。

【参考】

1. ニソンリファイナリー・ペトロケミカルリミテッドの概要

名称 ニソンリファイナリー・ペトロケミカルリミテッド
Nghi Son Refinery and Petrochemical Limited Liability Company
所在地 ベトナム社会主義共和国タインホア省ニソン経済区
設立 2008 年 4 月 14 日
資本金 2 億米ドル
出資比率 出光 35.1%、KPI 35.1%、PVN 25.1%、三井 4.7%

2. ニソン製油所・石油化学コンプレックスの概要

- (1) 所在地 : ベトナム社会主義共和国タインホア省ニソン経済区
(2) 精製能力 : CDU (常圧蒸留装置) 20 万バレル/日
(3) 主な装置 : RHDS (重油直接脱硫装置) 10.5 万バレル/日 (世界最大級)
 RFCC (重油流動接触分解装置) 8 万バレル/日
 Aroma Complex (芳香族製造装置) パラキシレン 70 万トン/年
(4) フィード原油 : クウェート重質原油 (設計 API 30.2)
(5) ニソン製油所予定地:



3. 検討経緯

2004年10月	石油開発鉱区取得の調印後、ペトロベトナム社 (PVN) より、本案件への出光の参画検討打診。
2006年 1月	PVN社との共同スタディーを開始。
2006年 2月	出光よりクウェート石油公社、三井化学殿に参画を打診。
2006年10月	詳細FS見直し完了、共同スタディー終了。 合弁契約、政府支援策交渉開始。
2008年 4月	同交渉妥結。4社で合弁契約を締結。(3月27日に公表済み) 投資ライセンス取得、合弁会社設置登記。
2008年 8月	英フォスターウィーラー社による基本設計開始
2009年12月	基本設計 (FEEDパッケージ) 完成
2010年 2月	建設業者入札開始
2013年 1月	LOA発行

以上